



備前・八塔寺  
ふるさと村

## 里山の魅力写真で

### ギャラリー開設 県立大生が撮影

八塔寺ふるさと村(備前市吉永町加賀美)の四季の移ろいを捉えた写真を展示するギャラリーが、同村内に開設された。県立大(総社市窪木)の写真部が協力。さまざまな表情を見せる里山の魅力を、若々しい視点で発信している。

県立大と包括連携協定を結ぶ備前市が、八塔寺地区の活性化策を  
県立大写真部員が撮影した作品が並ぶギャラリー「備前市吉永町加賀美

依頼。八塔寺国際交流ヴィラ近くにあり、市所有で無人のかやぶき屋根の小屋(平屋約40平方メートル)をギャラリーとした。

部員12人が昨年8月から11月にかけて計5回、現地を訪れて撮影。村内の豊かな自然や人物、昆虫などを被写体としたA3サイズの作品35点を展示したほか、2Lサイズのアルバムも置いた。かやぶき民家や農作業、収穫期を迎えて風にそよぐ稲穂など、日本の「原風景」とも言える作品が多く、兵庫

県赤穂市から訪れた井堀慎治さん(63)は「身近な題材も撮り方でこれほど変わるとは。豊かな感性に驚いた」と言う。

次回は3月、地区の祭りの作品に取り換える計画。県立大1年の田中柚月さん(19)は「八塔寺は何度訪れても魅力的。多くの方に来てもらいたい」と話している。

(岡亮佑)